

11月5日(水) 本年度第18回(通算2753回)

「 財団月間によせて 」

担当/財団委員会

12時30分 釧路プリンスホテル例会後

◆メーキャップ

11/1 石井 東洋彦君・中嶋 嘉昭君・北川 健二君・平井 昌弘君・鈴木 圭介君・多田 洋平君
田野 竜之介君・高橋 哲也君 (以上8名 釧路北 RAC)

◆出席報告【会員総数67名 免除5名 出席計算に用いた会員数67名】

出席者 31名 メーキャップ8名 出席率58.2%

◆ニコニコ献金 (今年度累計 490,000円)

- ・篠原君、入会おめでとう。新妻さんよろしく申し上げます ～萩原 昭博君、坂入 信行君
- ・大友さん、おめでとうございます ～石井 東洋彦君
- ・財団月間宜しく願い致します ～小松 亮次君
- ・篠原君、入会おめでとうございます。一緒に頑張りましょう ～大友 淳君、佐渡 正幸君
- ・結婚記念日のお花ありがとうございます ～中田 清秀君
- ・篠原君、入会おめでとう。末長いお付き合いをお願いします ～中島谷 友一朗君
- ・本日の例会よろしく申し上げます ～新妻 繁市君
- ・誕生日です。ケーキありがとうございます ～村井 順一君

◆会長挨拶

皆様こんにちは。11月に入り朝晩大変冷え込んでまいりました。連休北海道を寒波が襲い、道内大荒れ模様で峠もいたるところで雪景色となりました。遠出される方は車の運転には充分気を付けてください。

先週行われました商業高校就職指導講演会に参加頂きまして誠に有難うございます。御礼を申し上げます。

本日篠原君が入会されました。おめでとうございます。今月、もうひとり方入会予定で御座います。年度末までには70名で佐渡年度にバトンタッチ出来ればと考えております。

11月は財団月間で御座います。ロータリー財団のプログラムとして、ポリオプラス、ポリオ撲滅の為にゲイツ財団から寄せられた、3億5500万ドルの補助金に寄付を上乗せする為の募金活動、マッチンググラント、地区補助金、地区補助金は地元または海外の地域社会における短期奉仕活動、あるいは人道的な活動を支援します。

今年度この地区補助金を申請致しまして先月55万円が入金されました。毎年あなたも100ドルを目標に当クラブも寄付を重ねております。70名と考えた時70数万円の寄付が必要となります。会員の皆様にご理解いただきご協力をお願い申し上げます。

◆幹事報告

- ① 各クラブより例会プログラムの案内・会報が届いております。
- ② ロータリー文庫より、2013～14年度の決算書と資料目録が届いております。
- ③ 先月26日、旭川RCの80周年記念式典に出席しました、そのお礼状が届いております。
- ④ 先月、職業奉仕の講演でお越しいただきました、新藤PDGよりお礼状と東京立川こぶしRCのバナーが届いております。
- ⑤ 釧路地域住宅医療連携推進協議会様より、釧路の医療と介護の『市民フォーラム』開催の案内が届いております。

- ⑥ 帯広地区大会事務所より地区大会参加のお礼状と親睦ゴルフ大会の記念写真が参加者に届いております。
- ⑦ RI 会長ゲイリー C.K ホアンご夫妻をお迎えして『ジャパン・ロータリーデー II in 東京』開催のご案内が届いております。
以上7点と先日の宣蘭 RC 歓迎会で頂きました、60周年記念行事の招待状を含めまして回覧をさせていただきます。
- ⑧ ロータリーの友 11月号が届いておりますので、皆さんのパーソナルBOXに入れさせていただきました。
- ⑨ 米山奨学会より第9回 マルチプル米山功労者として小松亮次君に、第1回 米山功労者として萩原会長に感謝状が届いておりますので後ほど授与致します。
- ⑩ 先週1日の土曜日に行われました、ローターアクトのボウリング例会に中嶋理事・石井理事北川 G 補佐・直前・平井委員長・鈴木委員・高橋哲也委員長・田野・多田副幹事の8名で参加して頂き、親睦を育んで 頂きました。
- ⑪ 来週の職場訪問例会は『日本銀行 釧路支店』となっております。例会場所・時間は通常通り 12:30分からここプリンスホテルで行い、例会終了後、徒歩にて移動頂きご参加頂きます。又、準備の都合上、出欠をとらせて頂きましたが、本日が最終締切でございますので宜しくお願い致します。



新入会員紹介

篠原 恒也 君
しのはら こうや

株式会社シノハラ園芸
代表取締役







財団月間に寄せて



新妻繁市 財団委員長



ロータリー財団の 新しい方向

国際ロータリー第2500地区
2008年～09年度ガバナー
足立功一

13-128 各クラブが支払う半期人頭分担金の 最低額をなくす件 (イギリス)

提案理由・・・クラブは、各年度のはじめに、実際の
会員数に基づいて人頭分担金を支払う責任
のみを有すると、Kennington ロータリー・クラ
ブは信じている。会員が10名を下回るクラブに
財務的な罰を課すべきではない。
クラブがR Iに支払うべき会費の最低額はない
ものとする。

採決⇒264対244で採決

2013年度 規定審議会での結果

13-71 ロータリー財団管理委員の 空席を充填する件 (理事会) R I 細則

管理委員会には、R I 会長エレクトが推薦し、
理事会が選出した15名の管理委員がいなければ
ならない。各管理委員は、就任する前の年度
に選出される。管理委員のうち4名は、元R I
会長とする。

管理委員に空席が生じた場合、残存期間を埋め
る新しい管理委員をR I 会長が指名し、理事会
が選出する。

採決⇒カードによる採決の結果、採択

13-126 人頭分担金を増額する 件 (理事会)

◆人頭分担金支払いを半年毎に、

- 1) クラブの会員は、2013～14年度にUS\$26.50
2014～15年度にUS\$27.00
2015～16年度にUS\$27.50
2016～17年度にUS\$28.00

- 2) クラブは、2013～14年度にUS\$265
2014～15年度にUS\$270
2015～16年度にUS\$275
2016～17年度にUS\$28.00

※カードによる採決により採択

13-72 財団管理委員の任期を改正し、 管理委員長任期を4年に延長する件 (スウェーデン) R I 細則22.020

管理委員の任期を6年、管理委員長の任期を4年とする

◆提案理由

本制定案の趣旨は、「未来の夢計画」において大規模な長
期パートナーとの協力を確保する上で必要とされる継続性
を高めることである現行は管理委員4年、委員長1年任期

◆審議

(賛成) 将来のためにこれから大きな存在になるためには、
この制定案は効果的である。

(反対) 今の任期で円滑な交代をすることにより活力は維
持できる。

2013年度RI財務委員会会計年度

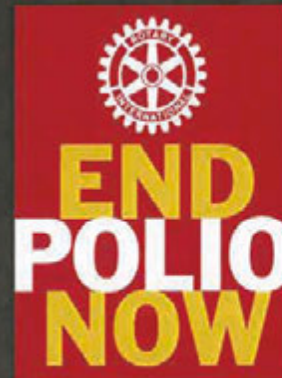
- 収入の部
投資収益率が11.2%増(約1200万ドル)
会員増強を2万人と想定 → 実際は会員減少
70万ドルの減少
- 支出の部
2012年～2016年期間:5年間で2500万ドル支出
(この前提として会員数の増加を2018年までに
4万2500人の増加を見越している)
- 5%の投資純益を見込む:過去5年間では5.2%、
10年間では6.4%、15年間では5.0%
- インフレ率は3%

ロータリー平和センター

- 世界6センター、7大学で過去10年間に787名の卒業生
- ロータリー平和センター大口寄付推進
計画は2015年6月末日で
9500万ドルを目標
- 2013年9月現在で9330万
ドルに達する
- このため目標を1億2500万ドルに
変更

RIの支援業務

- 基本的には独立採算である活動に対しての補助
 - ①国際大会の登録費
 - ②ザ・ロータリアン誌の定期購読料
 - ③米国のクラブと地区の保険料
 - ④ワン・ロータリーセンター(世界本部)
の賃貸収入、出版物の売り上げ
- 人頭分担金を挙げてもインフレ率を考えると、
2018年度には不足して、一般剰余金の取り崩し
が必要



年次基金への寄付

- 1億1500万ドル(115億円)を
超え、ロータリー史上最高額
- この額は全世界のロータリアンが一人
100ドルを寄付したことになる
- 恒久基金の純資産と期待値は8億ドル
を上回り、2025年までに10億
ドルの目標に達する見込み

(賛成) 伝統的に元会長が管理委員長に就任することの是非はともかく一番ふさわしいのはどこまでの期間かは特定できない。

(反対) (ダクターマン元RI会長) これはロータリーにとって良くない。管理委員の任期について反対はしないが、最も重要な職務である管理委員長の任期が4年、国際ロータリー会長の任期が1年では大幅な影響を与える恐れがある。

管理委員と管理委員長の任期をそれぞれ採決する修正動議があったが、修正動議は否決された。

(反対) 財団管理委員会としてこの案件を検討し、一致して反対の結論を得ている。

採決⇒30対186で否決

13-183 補助金の受領資格に関する指針の改正を検討するよう管理委員会に要請する件 (日本、神奈川県、小田原RC)

今回の東日本大震災にかかわらず、世界各地で自然災害が多発している。これからも多く発生する可能性も高い中でロータリーの家族ということで財団の奨学金や補助の対象からはずされることは問題があると思われる。

公平の意味からもロータリアンが災害で亡くなったときは、その家族も支援の対象にすべきであると考ええる。

採決⇒313対184で採択

13-182 ロータリアンの孫がロータリー財団補助金プログラムに参加できるようにすることを検討するよう管理委員会に要請する件 (オーストラリア)

理事会へ付託することが採決された。

財団の新しい資金モデル

◆ロータリー財団管理委員会は、財団の運営費を賄うための新しいモデルを承認した。

◆財団は2015年7月1日より、年次基金への寄付の5%を、必要に応じて財団の運営または運営準備金に充てることとなった。また、グローバル補助金への現金拠出の5%が、補助金の手続き等にかかる経費を賄うための運営費に充てられる。

◆寄付の一部を運営費や寄付推進費に充てることは非営利団体では一般に行われていることであり、変動の激しい現在の金融市場においては、運営費を投資収益だけに頼るのは持続可能な方法ではないと、管理委員会は判断した。財団は引き続き、財務の健全性と透明性を守るために努めてまいります。

財団補助金の受領無資格者

- ①ロータリアン
- ②クラブ・地区・ほかのロータリー関係組織・RI職員・前記ロータリアンと職員の配偶者・直系卑属(血縁による子または孫、入籍している養子)直系卑属の配偶者、尊属(血縁による両親または祖父母)

(当該ロータリアンが所属クラブを退会して36カ月間無資格のまま)

ロータリー財団の新しい資金モデル：知っておくべき10のポイント

1. ロータリアンとクラブにとっての重要性
最近の不況と不安定な投資市場を経験した財団は、投資収益の不調がロータリーのプログラムや奉仕に影響を与えないよう、十分な準備金を蓄える必要性を強く認識しました。新しい資金モデルは、現在だけでなく、これからもずっとロータリアンの活動を支えていくための財源を確保することが目的です。財団の方針は、3年分の運営費に等しい運営準備金を維持することです。
2. ポリオプラス基金への寄付に一切影響はありません
3. 恒久基金への寄付に一切影響はありません
4. 地区財団活動資金(DDF)に一切影響はありません

5. 必要な場合には、年次基金への寄付の5%が、国際財団活動資金 (WF) から運営費 (または運営準備金) に充てられます。今後も引き続き、年次基金への寄付は、3年間の投資期間を経た後で、50%がDDF、残り50%がWFとなります。ただし、投資収入で十分な運営費を賄えない場合、あるいは運営準備金が十分なレベルに達していない場合には、年次基金への寄付の5%に相当する資金が、WFから運営費に充てられる場合があります。運営費に充てる必要がない場合には、この5%はWFとして残り、通常のWFと同じように補助金に使われます。

6. 法人寄付の最大10%が運営費に充てられます

法人や企業からの大口の寄付の最大10%を運営費に充てることは、一般的に多くの慈善団体が行っていることです。このような寄付は、重点分野におけるプロジェクトの重要な財源となります。こうした寄付の最大10%で運営費を賄うことができれば、その分、クラブと地区による補助金プロジェクトの資金を保持することができます。

7. グローバル補助金への現金拠出の5%が運営費に充てられます。現在の仕組みでは、クラブや地区がグローバル補助金に現金を拠出した場合、さまざまな事務手続きが必要となります。例えば、通常、グローバル補助金には複数の提唱者があり、複数の会員が別々に寄付しているクラブもあります。このような場合、個々の寄付者への認証手続きが必要となります。さらに、28種のロータリー公式通貨への換算や海外送金といった手続きも必要です。しかし、この拠出金は3年間の投資を経ないため、こうした事務手続きの費用を賄う収入がありません。こうした理由から、グローバル補助金への拠出金の5%をこの事務手続きの経費に充てることになりました。

8. ロータリアンにしっかりと情報を伝えるためのプランを立てています。管理委員会は、この新しい資金モデルの正確な情報を、透明性をもって、丁寧に連絡、説明していけば、ロータリアンからの支持が得られると考えています。

9. 研修と資料を準備しています

現在、地区とクラブの役員と委員会のための研修資料に加え、ウェビナーやEラーニング資料を作成中です。詳しくは、fundingmodel@rotary.orgまでお問い合わせください。

10. 財団は資金管理と透明性を大切にしています

財団はこれまで、Charity Navigatorやその他の慈善団体の格付け機関によって、非常に高い評価を得ています。詳しくは、ウェブサイトの[財務情報のページ](#)にある「信頼される慈善団体として」の項をご覧ください。お問い合わせやコメントがありましたら、fundingmodel@rotary.orgまでご連絡ください。ロータリアンは、人々の人生を大きく変える意義ある活動を、地域社会や世界で行っています。このような活動を末永く続けていくために、ロータリー財団を引き続きご支援いただけますよう、何とぞお願い申し上げます。

◆パッケージ・グラントが漸次廃止に

これまで数々の成果をもたらしたパッケージ・グラントが廃止になります

パッケージ・グラントの結果を評価したところ、ロータリアンの参加という点で当初の目標や期待とのズレが生じていることが分かりました。

これを受け、管理委員会は、財団の戦略パートナーとの協力を、今期の契約が満了となり次第、継続しないことを決定しました。このため、パッケージ・グラントは、実施中の活動がすべて終了し次第、廃止となります。

◆補助金「授与と受諾の条件」が改訂されました

補助金の「授与と受諾の条件」は、補助金の方針への変更を反映させ、文言の意味を明確にするために定期的に改訂されます。

最近加えられた主な変更の一つに、地区補助金の受領基準が拡大されたことがあります。今後、地区補助金を青少年プログラム (青少年交換、RYLA、ローターアクト、インターアクト)、建設 (低廉簡易住宅を含む)、協力団体スタッフの旅費、奨学生オリエンテーションセミナー、補助金管理セミナー、ロータリー以外の団体が主体となっている活動にも充てることができます。

◆年度末の補助金の統計

2013-14年度、世界中のロータリアンが新しい補助金を積極的に活用しました。

◆承認された補助金数

地区補助金が492件、
グローバル補助金が858件、
パッケージ・グラントが18件